



平成 20 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 株式会社 学習 研究 社

代表者名 代表取締役社長 遠藤 洋 一 郎

本店所在地 東京都大田区上池台 4-4 0-5

コード番号 9 4 7 0

(情報取扱責任者)

取締役経理部担当 中 森 知

TEL 03-3726-8051

業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 1 日に公表した、平成 20 年 3 月期の「業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ」について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、特別損失に追加がありますので、その内容について併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 2 月 1 日発表)	79,000	△ 1,600	△ 2,100	△ 3,100
今回修正予想 (B)	78,500	△ 2,100	△ 2,800	△ 5,600
増減額 (B-A)	△ 500	△ 500	△ 700	△ 2,500
増減率 (%)	△ 0.6%	— %	— %	— %
前期 (平成 19 年 3 月期) 実績	78,187	△ 200	△ 650	763

2. 平成 20 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 2 月 1 日発表)	65,500	△ 1,600	△ 1,900	△ 2,900
今回修正予想 (B)	64,100	△ 1,900	△ 2,300	△ 5,400
増減額 (B-A)	△ 1,400	△ 300	△ 400	△ 2,500
増減率 (%)	△ 2.1%	— %	— %	— %
前期 (平成 19 年 3 月期) 実績	67,601	128	△ 194	852

3. 修正理由

(通期業績・連結)

直販事業の家庭向け訪問販売市場を取り巻く社会環境の悪化と組織販売力の低下などが原因で、ニューマイティーを中心とするセット商品の新規受注が予想を下回りました。また、市販事業の学参書分野は新学期商品の当期中の返品が予想を上回りました。

子会社の株式会社学研トイズの事業整理引当費用が見込みより増加したこと、当社関係会社の直近の業績、財務状態、今後の事業計画を精査した結果、「のれん」を減損処理したこと、及び投資有価証券の評価損が発生したことなどにより特別損失が前回見込より増加しました。

(通期業績・個別)

直販事業の家庭向け訪問販売市場を取り巻く社会環境の悪化と組織販売力の低下などが原因で、ニューマイティーを中心とするセット商品の新規受注が予想を下回りました。また、市販事業の学参書分野は新学期商品の当期中の返品が予想を上回りました。

当社関係会社の直近の業績、財務状態を精査した結果、関係会社事業整理引当金、貸倒引当金の追加計上、関係会社株式評価損を実施したこと、及び投資有価証券の評価損が発生したことなどにより特別損失が前回見込より増加しました。

以上の理由により、通期業績予想数値を修正いたします。

※ なお業績の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

4. 特別損失計上のお知らせ

(1) 連結決算における主な特別損失

のれんの減損処理で約 700 百万円を特別損失に計上する予定です。

(2) 個別決算における主な特別損失

貸倒引当金繰入額で約 400 百万円、関係会社事業整理引当損で約 200 百万円、関係会社株式評価損で約 1,000 百万円を特別損失に計上する予定です。

なお、貸倒引当金繰入額、投資損失引当金繰入額、関係会社株式評価損は連結決算上消去されます。

5. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期では M&A による事業の売上拡大、人件費の削減、赤字事業撤退・縮小などのコスト削減による営業利益の改善等により売上高 800 億円、営業利益 12 億円、経常利益 10 億円、当期純利益 17 億円を見込んでいます。なお、平成 22 年 3 月期を含めた今後の見通しにつきましては 5 月 16 日までに発表する予定です。

以 上